

第2回北区文化会館指定管理者申請者評価会議 会議録

日 時	令和元年 10 月 8 日(火)14:00～16:00	場 所	北区役所大会議室
会議名	第2回北区文化会館指定管理者申請者評価会議		
出席委員	杉浦 幹男 アーツカウンシル新潟代表 松田 正實 北区自治協議会会長 水戸 哲夫 利用者代表 風間 良光 税理士		
会議日程	1 開会 2 評価委員打合せ（非公開） 3 申請者によるプレゼンテーション及びヒアリング（公開） 4 評価委員意見交換及び採点（非公開） 5 閉会		
事務局	北区産業振興課 課長・課長補佐・文化スポーツ係職員2名		
会議内容			
<p>1. 開会</p> <p>2. 評価委員打合せ（非公開）</p> <p>3. 申請者A（NKS・ハピスカとよさか共同事業体）による公開プレゼンテーション及びヒアリング（公開）</p> <p>①プレゼンテーション 説明者3名・傍聴者5名</p> <p>②ヒアリング</p> <p>（松田委員） これからの方向として、芸術文化にあまり関心が無い人に、もっと関心を持ってもらうように事業を行い、利用者や地域住民のニーズを把握して文化事業へ活かしたいというような話が出た。そして、「これまで10年間の実績をもとに」と記載があるが、10年間活動してきた中で、具体的にどんな課題やニーズ・アンケート結果があり、それに対して、今回は特にどういう所に活かしていくのか具体的に事例を持ってお話しいただきたい。</p> <p>（プレゼンター） 音楽関係の文化事業の集客が難しいと感じている。またアンケートについては個別の事業で様々なご意見をいただいている。我々としては会館に来ている方だけではなく、会館に来ない方というのもニーズを把握していく必要があると判断し、無作為のwebアンケートを今後行いたい。この調査は、2,30万人規模の地域であれば、2,3週間で500～1000くらいの回答を得られる実績もあり、そういったものを活用して生の声というのを事業に反映させていきたい。来ていただいている方はもちろん、これから我々が重点的にやりたいと思っている、現状会館へ来ていただけていない方々に対してもニーズの調査の把握を行った上で、より裾野を広げていくような事業の展開を行っていきたい。</p> <p>（松田委員） これまでの10年間の実績を踏まえて、皆さん方で、新たな指定管理を行うにあたって、どういう課題を把握されているのか。</p> <p>（プレゼンター） アンケートを事業毎に取っているが、その事業が非常に良かったとか、大変素晴らしいとか、項目を選んで○を付けるというもの。しかし、具体的にどうだ、という意見は割と少ないのが現状で、つまらぬ意見があまり無く、現在来館する人は、好きな人が来て、素晴らしかったと言っているような状況。そうではなく来館されない方がどんなふうに考えているのか、これからは意見を取っていかうと考えている。</p> <p>（水戸委員） 稼働率についてのこれまでの実績を踏まえた考えを聞かせてほしい。</p>			

(プレゼンター)

また目標の稼働率について、区役所移転は見込んでいるのか。練習室など使いやすく、他の館と比べ稼働率が高い傾向だが、現在より稼働率を伸ばすことは難しいと考えている。練習室は、区役所に用がある人が立ち寄りたりして音楽等を愛好している人がさらに利用し、使用率・稼働率が上がるとは予想されるが、ただ、現状で練習室1・2・3は既に稼働率が高いので、これ以上の上昇は難しいと考える。全体として、区役所移転による稼働率は見込んでいない。移転に伴い、皆さんから来ていただいて、そこに文化会館を見て、よし俺もここで練習してみたいとなってくれればありがたいなと思っている。

(杉浦委員)

文化会館の役割として、社会包摂について触れているが、アクセシビリティについて質問をしたい。多様な価値観について重要視される中、先ほどのプレゼンテーションで、文化芸術を知らない人に知ってもらうという話があったが、これはおそらくすごく難しい。興味がある人は、だいたいお金があって、お金があるか時間が余ってる人の話。そうではなく、これからは芸術文化が、自分たちの問題、身近な問題と密接に絡んで身近な課題を解決するためにあって、さらにそれを提供してくれる文化会館があるという考え方に繋がると思う。文化会館に来てもらうためには、単純に施設をユニバーサルデザインにすればいいという問題ではなく、ある種の心の転機みたいなものが必要かと思っている。今後5年間に具体的にどういう事をやってみたいとか、どうやって福祉など別な分野と連携し開かれた施設となること、今後5年間で何をやっていくか具体的にお聞きしたい。

(プレゼンター)

文化芸術は時間とお金がないとなかなか親しめないというのも大変厳しい現実だと認識している。そして、間を埋めるというところも今後やっていきたい部分ではあるが、一足飛びにそのような仕組みを作れるとは思っていない。実際にどこの会館もなかなか出来ていないという現状もあり、我々も継続的に模索していく考え。まずは、やはり今回、隣に新しい区役所ができて、文化会館に今まで関わらなかったような人、余裕がなかった人というのも確実に来る機会ができる。その時についでにちょっと寄ってみようかな、という流れを作るのはかなり現実的なラインだと思っている。何かしらに興味関心を引いて会館に入ってもらって、その時に何か得られるものがある。それが365日出来るようになるまでには遠い道のりになるとは思っているが、それには少しでも利用者は増えていく。そしてそこで、たとえば楽器に触れるような機会があって、これはおもしろいと思っていただく。そういったかたちで最終的にまちづくりに変化していけるような環境づくりというのがやりたい事です。

(杉浦委員)

思いは素晴らしい。着眼点を変えたり、職員研修だったり、やり方をちょっと変えるだけでも効果があると思う。情報収集も頑張ってください。

(風間委員)

指定管理料が上限額で計算されていますが、他の指定管理者の募集時には、これだけの事をやるので安くなりますよ、というのが指定管理者の提案がある事が多い。今回は上限額ということだが、その理由を聞きたい。また5年間の収支計画について、すべて同額となっているが、そのあたりの見込みについて教えてほしい。

(プレゼンター)

開館当初の文化事業費が900万で、選定ごとに文化事業費のウェイ

第2回北区文化会館指定管理者申請者評価会議 会議録

トが上がっており、4～5年目になると人件費の上昇も苦しい状況となると考えるため、この金額。人件費の上昇については市とも相談させて頂きたいが、上限額の中で行う予定である。

(風間委員) 窓口のキャッシュレス化については考えているか。
(プレゼンター) 手数料もあるので考えていない。

4 評価委員意見交換及び採点 (非公開)

5. 閉会